

会 議 録

(4-1)

会議の名称		令和2年度第1回春日部市放課後子ども教室運営委員会		
開催日時		令和2年6月26日(金)	開 会	午前11時00分
			閉 会	午前11時35分
開催場所		教育センター4階 研修室1		
議長(委員長等)氏名		加藤 大二		
出席者	委員氏名	(出席人数：9人) 加藤 大二、杉山 充男、野村 三男、 吉田理子、平尾 典子、島村 克己、駒崎 浩司(代理)、 舘野 俊之、須藤 俊英		
	説明者 その他			
事務局	事務局	(出席人数：4人)		
		社会教育部長 村田 誠		
		社会教育部次長兼社会教育課長 神谷 司		
		社会教育課青少年教育担当主幹 木村 正恵		
		社会教育課青少年教育担当主査 木本 淳次		
第及び公開、一部公開、非公開の区分		開会、選任書交付、あいさつ、自己紹介、委員長・副委員長選出 議事1 「放課後子ども総合プラン春日部市行動計画(第2次)」 策定の報告について：公開 議事2 令和2年度春日部市放課後子ども教室の運営について： 公開 議事3 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた留意事項につ いて：公開 議事4 その他：公開 閉会		
一部公開・非公開の 場合はその理由		非公開部分なし		
配布資料		資料1 春日部市放課後子ども教室運営委員会委員名簿 資料2 第2期春日部市子ども・子育て支援事業計画 資料3 春日部市放課後子ども教室運営の手引き(案) 資料4 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた留意事項につ いて		
会議録の作製方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録		
会議録署名の指定		会議録の署名は、委員長が行うものとする。ただし、委員長が不在 その他の理由によりやむを得ないと認められる場合は、副委員長又は 事前に委員長から指名された委員が、署名を代行できるものとする。		

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p>9名の出席があり、春日部市放課後子ども教室運営委員会要綱第6条第2項の定める定足数に達していることの報告。</p> <p>会議公開制度に基づき、議事の全てを公開とし、傍聴者数5名以内とするものの報告。</p> <p>一部委員欠席の報告。</p>
社会教育部長 (教育長代理)	2 委嘱状交付
社会教育部長 (教育長代理)	3 あいさつ
委員・事務局	4 自己紹介
仮 議 長 議 長	<p>5 委員長及び副委員長の選出</p> <p>《委員の互選により、委員長に加藤委員が選出。》</p> <p>《委員の互選により、副委員長に杉山委員が選出。》</p>
議 長	<p>6 議事</p> <p>【議事1】 「放課後子ども総合プラン春日部市行動計画（第2次）」策定の報告について</p> <p>「議事1『放課後子ども総合プラン春日部市行動計画（第2次）』策定の報告について」事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	(資料2により事務局から説明)
議 長	<p>「議事2 「放課後子ども教室の運営について」及び議事3 「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた留意事項について」事務局から説明をお願いします。」</p> <p>(資料3、資料4により事務局から説明)</p>
議 長	「ただいまの説明につきまして、ご質問等はございますでしょうか。」

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	「本年度の放課後子ども教室について、実施することが前提で、昨今の事情をふまえて実施しないという選択肢はないのでしょうか。各学校で決断をしてほしいということでしょうか。」
事 務 局	「各学校で協議のうえ、原則実施の方向で検討いただければと考えております。」
委 員	<p>「他自治体と比較して、市がコーディネーターに何をさせたいのか、コーディネーターにしっかりと伝わっていないように思います。</p> <p>詳細な指針が無ければ、コーディネーターも動けず負担になってしまいます。最悪の場合、後任が見つからないままコーディネーターが辞任してしまうことも想定されます。</p> <p>このような現状で、また前例のない昨今の世間の情勢のもとで、実施の可否などについて各学校・各コーディネーターに判断を委ねるといのは乱暴ではないでしょうか。」</p> <p>学校によっては、1年任期でコーディネーターが変わり、事業の目的などが中々浸透しない事例もあります。そのような中で各学校や各コーディネーターに判断を一任するのは、この機会に考え直してほしいと思います。</p> <p>また、SDG'sの観点から放課後子ども教室を考えるのであれば、放課後子ども教室の取り組み方も変えていかなくてはならないと思います。この1年は、世間の情勢も踏まえ、市内のコーディネーターが集まってしっかり話し合い、放課後子ども教室事業への取り組み方について検討する1年にすべきではないでしょうか。」</p>
事 務 局	「現在の状況だからこそじっくり検討する時間ができたとも考えられます。現場からの声を取り入れながら、今回いただいた意見等について検討していきます。」
委 員	「資料の中で、土曜日の学校施設を活用した教室の実施について言及があるが、この場合放課後子ども教室で学校の鍵を管理すること、先生不在のなか子どもたちに何かあったときの対応など、さまざまな点で懸念があります。すべて放課後子ども教室のスタッフに丸投げになっているように感じる。市内でどれぐらい土曜日の放課後子ども教室の開催事例があるのでしょうか。」

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事 務 局	「昨年度は、約4校で土曜日の開催事例がありました。意見を一度預かり、市内各校の状況をうかがった上で詳細な回答をいたします。」
委 員	「学校現場では、授業終了後に先生方が教室等の消毒を徹底していると伺っています。放課後子ども教室を校内で実施した場合も、同様に消毒を徹底する必要があると考えますが、費用や労力が大きすぎることから、今後の世間の見通しが立っていない現状では、放課後子ども教室の実施は不可能ではないかと思っています。この点について、事務局はどのように考えていますか。」
事 務 局	「頂いた意見について一度預かり、検討します。」
議 長	「他に意見はありますか。」
議 長	<p>「無いようですので、以上で議事を終了します。」</p> <p>7 閉会</p>
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和2年 月 日</p> <p>署名者の職・氏名</p>	